

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する

※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す

ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない

※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による

※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
T14	1925	11	18	安藤 祐専	新潟高等学校教授	日本史 広島高等学校長
T14	1925	11	22	内田 作	九州帝国大学医学部附属医院薬局長	
T14	1925	11	24	橋田 東声		歌人 東京外国語学校教授 本名:橋田丑吾
T14	1925	11	25			外国人
T14	1925	11	25	山口 徳三郎	女子学習院教授兼事務官	国語学
T14	1925	11	27	秋山 雅雄	岡山県倉敷高等女学校長	
T14	1925	11	29	西 成甫	東京帝国大学教授	解剖学者 群馬大学学長 日本エスペラント学会理事長
T14	1925	11	29	松尾 巖	京都帝国大学教授 医学博士	同行 内科学者 大阪女子医専理事長 俳人
T14	1925	11	29	実吉 敏郎	海軍少佐	のち海軍大佐 海軍軍医学校長実吉安純の次男、妻は志賀直哉の妹
T14	1925	12	15	谷口 尚真	海軍中将	第2艦隊司令長官 のち海軍大将 連合艦隊司令長官 軍令部長 軍縮派 三菱長崎造船所視察
T14	1925	12	15	鳥巢 玉樹	海軍中将	同行 第5戦隊司令官 伏見宮家別当
T14	1925	12	15	米内 光政	海軍少将	同行 艦隊参謀長 のち海軍大将 連合艦隊司令長官 政治家 37代首相
T14	1925	12	15	館 明次郎	海軍大佐	同行 第4戦隊練習戦艦比叡艦長 のち海軍少将 水雷戦隊司令官 水雷の権威
T14	1925	12	15	加藤 隆義	海軍大佐	同行 第4戦隊霧島艦長 のち海軍大将 加藤友三郎元帥の養子
T14	1925	12	15	小柳 喜三郎	海軍中佐	同行 のち海軍大佐 中ソ武官 海軍大学校首席卒
T14	1925	12	15	細谷 義男	海軍中佐	同行 のち海軍大佐
T14	1925	12	18	近藤 雄太郎	兵庫県津名郡江井町長	
T14	1925	12	18	住田 金作	兵庫県津名郡江井町誌編纂員	同行
T14	1925	12	18	岩見 清一	全上	同行
T14	1925	12	24	宮川 正雄	佐世保海軍病院長	のち海軍少将
T14	1925	12	24	中本 鶴一	全 海軍軍医少佐	同行
T14	1925	12	25	清水 澄	法学博士	憲法・行政法学者 枢密院議長 大正・昭和天皇に憲法学進講
T14	1925	12	27	藤井 健治郎	京都帝国大学教授文学博士	倫理学者 国民道德講習会で講演
T15	1926	1	12	谷崎 潤一郎		作家 文豪 ノーベル文学賞候補 米国文学アカデミー会員
T15	1926	1	13	三木 茂		植物学者 植物化石の分類研究 メタセコイア発見
T15	1926	1	15	大久保 幸次	駒沢大学教授	イスラーム研究者 回教圏研究所所長
T15	1926	2	4	野田 一郎	京都市立第一高等女学校長	
T15	1926	2	18	永井 準一郎	大分県知事	大阪府警察部長
T15	1926	2	18	山本 美越乃	京都帝国大学教授 法学博士	経済学者 植民政策学 京都帝国大学総長
T15	1926	2	22			外国人
T15	1926	2	24	高木 正道	熊本郵便局長	東京通信局長
T15	1926	2	24	杉山 悦造	長崎郵便局電信課長	同行
T15	1926	2	24	須藤 憲三	金沢医科大学長	生化学者 糖尿病研究「栄養」の命名
T15	1926	2	24	野村 孝次郎	文部技師	同行
T15	1926	2	26	宮島 信夫	農林事務官	資源局施設課長

T15	1926	2	27	Martin Hoeksema		東山学院
T15	1926	2	27	Easek Bull		同行
T15	1926	3	2	斎藤 佳三	東京美術学校講師	作曲家、舞台美術家、演出家、凶案科、総合芸術家 東京凶案専門学院院长 国民服考案
T15	1926	3	3	重田 忠保	警視庁	内務官僚 神奈川県官房長 戦災復興院次長 特別調達庁総裁
T15	1926	3	3	加藤 精三	長崎県属	文部官僚 鶴岡市長 衆議院議員 衆議院議員加藤紘一の父
T15	1926	3	4	三井 大作	浅野図書館司書長	広島市立中央図書館の前身
T15	1926	3	4	片倉 五郎	片倉製糸会社	取締役
T15	1926	3	5	次田 大三郎	内務省土木局長	茨城県知事 貴族院議員 国務大臣兼内閣書記官長
T15	1926	3	5	片山 貞松	内務省下関土木出張所長	同行
T15	1926	3	5	永井 浩	静岡県保安課長	同行
T15	1926	3	6	渡部 喜一郎	愛媛県東宇和郡書記	
T15	1926	3	6	小笠原 友一	全	
T15	1926	3	8	佐藤 剛蔵	京城医学専門学校教授	京城帝大医化学教授 京城医学専門学校長 千寿厚生科学研究所所長 朝鮮近代医学教育に貢献
T15	1926	3	16	白戸 半次郎	福島県地方課長	
T15	1926	3	13	中村 勝麿	史料編纂官	
T15	1926	3	13	岩生 成一	史料編纂官補	同行 東京大学、法政大学教授 歴史学者 日本近世対外交渉史 日蘭学会理事長
T15	1926	3	13	秋田 稔	市立岡山図書館司書	同行
T15	1926	3	19	時永 浦三	宮崎県知事	朝鮮総督府監察官 宮城県内務部長 佐賀県知事
T15	1926	3	24	石川 登喜治	海軍造機少将	のち海軍技術中将 金属工学者 早稲田大学鑄物研究所初代所長
T15	1926	3	24	竹林 晃	海軍機関少佐	同行
T15	1926	3	24	藤井 甚太郎	維新史料編纂官	同行 明治維新史研究 法政大学名誉教授 日本歴史地理学会会長 日本近代史学会会長
T15	1926			満谷 国四郎		洋画家 帝国美術院会員 太平洋画会創立
T15	1926			柚木 久太		同行 洋画家 新世紀美術協会創立 満谷に師事
T15	1926			小野田 元興		同行 洋画家
T15	1926			片岡 銀蔵		同行 洋画家 岡山洋画研究会会長 満谷に師事
T15	1926			高杉 茂		同行
T15	1926	3	30	渡 正監	大阪府保安課長	内務官僚 東京府経済部長 中国大使館駐在参事官 上海工部局警視總監 日本山岳会会員 高山蝶の研究
T15	1926	4	5	豊田 勝蔵	福井県知事	樺太庁長官 萩市長
T15	1926	4	5	和田 和作	福井県属	同行
T15	1926	4	5	岡井 慎吾	熊本医科大学予科教授	国語学者 漢文学研究 京都帝国大学から博士号
T15	1926	4	7	Platek	パーテク	
T15	1926	4		安木 物外	九州帝国大学事務官	同行
T15	1926	4	8	金井 為一郎	東京牛込区原町 市谷教会牧師	日本基督教会伝道士 日本基督教団牧師 日本聖書神学校創設
T15	1926	4	9	番匠 鐵雄	鹿児島日本基督教会牧師	台湾長栄女学校校長 北陸学院院長 キリスト教功労者受賞
T15	1926	4	12	清水 為次郎	農林省山林事務官	農林理事官
T15	1926	4	12	宮川 順輔	長崎営林署長	同行
T15	1926	4	13	松本 徳三郎	下関日本基督教会牧師	
T15	1926	4	15	権藤 傳次	陸軍中将	歩兵第36旅団長 大日本国光宣揚会長 書家
T15	1926	4	15	F. Gentil		
T15	1926	4	17	山本 徳太郎	大阪府堺市学務委員 市史編纂委員	
T15	1926	4	17	石 = 孫次郎	大阪府堺市市会議員	同行
T15	1926	4	18	田中 憲一		
T15	1926	4	19	稲田 龍吉	東京帝国大学教授	細菌学者 九州帝大医学部第1内科初代教授 スピロヘータ発見 ノーベル生理学・医学賞候補

T15	1926	4	22	上野 篤	鹿児島市長	同年
T15	1926	4	22	辛島 知己	熊本市長	同行 第3代市長辛島格の長男
T15	1926	4	22	吉川 充雅	戸畑市長	同行 戸畑市初代市長
T15	1926	4	22	守永 平助	小倉市長	同行 小倉商工会会長
T15	1926	4	22	吉川 孝一	門司市長	同行
T15	1926	4	22	森迫 熊一	都城市助役	同行 のち市長
T15	1926	4	23	太田 保一郎	元学習院教授	
T15	1926	4	23	山田 忠	元諫早高等女学校長	同行
T15	1926	4	25	足立 収	内務事務官	神社局事務官
T15	1926	4	28	山本 英輔	海軍中将	のち海軍大将 海軍航空本部初代本部長 連合艦隊司令長官
T15	1926	4	28	植村 茂夫	海軍大佐	同行 のち海軍中将 横須賀鎮守府参謀長 水路部長
T15	1926	4	28	佐藤 信	海軍機関大佐	同行
T15	1926	4	28	水野 恭介	海軍大尉	同行 のち海軍少将
T15	1926	4	29	伊藤 清六	海軍中尉 外 兵科候補生三十三名 機関科候補生十三名 主計科候補生六名	
T15	1926	4	30	菊池 幽芳		小説家 家庭小説 大阪毎日新聞社取締役 翌年日本新八景になった雲仙岳の紀行文を新聞に掲載 本名:菊池清
T15	1926	5	3	巨智部 忠承	理学博士	地質学者 応用地質学 地質調査所長 韓国統監府農商工部技監 ナウマンに師事 長崎出身
T15	1926	5	4	三木 調造	神奈川県参事会員 外四名	神奈川県議会議長
T15	1926	5	12	中條 百合子		=宮本百合子 小説家、評論家 プロレタリア文学 日本共産党委員長宮本顕治の妻
T15	1926	5	13	上原 参良	地方事務官	
T15	1926	5	16	長沼 賢海	九州帝国大学法文学部教授	国史学者 文化史 九帝大國史学科初代教授 香椎中学校長 久留米大学教授 県教育会春季総会での講演